

科名 外科

対象疾患名 CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発胃癌

レジメン名 ビロイ+mFOLFOX6(2回目以降)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	CVポート	メイン3-①	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓			
2	CVポート	側管①	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓			
			アロカリス	235mg					
			ファモチジン	20mg					
			ポララミン	5mg					
			デキサート	9.9mg					
3	CVポート	側管②	ビロイ	400mg/m ²	50mL/1h→100mL/1h→150mL/1h→200mL/hr	↓			
			注射用水	5mL	投与開始後15分経過観察。				
			生食	250mL	総液量がビロイ溶解液量の10倍となるようにする。				
			生食	500mL					
4	CVポート	メイン3-②	レボホリナート注	200mg/m ²	2時間かけて	↓			
			5%ブドウ糖液	250mL					
5	CVポート	側管③	オキサリプラチン注	85mg/m ²	2時間かけて	↓			
			5%ブドウ糖液	250mL					
6	CVポート	側管④	フルオロウラシル注	400mg/m ²	急速静注	↓			
			5%ブドウ糖液	50mL	3～5分				
7	CVポート	メイン3-③	フルオロウラシル注	2400mg/m ²	46時間持続静注				
			生理食塩液	mL※	シユアフューザーA	→			

※生理食塩液の量は5-FUの量により決定する。

★1クール=14日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

＜ビロイ＞

投与中から悪心嘔吐出現し、投与速度が早いと悪心嘔吐の頻度が高まる。(初回に多い)

投与中の悪心嘔吐の対応は別紙参照

規定投与速度での合計時間が1時間を超えたら次の速度へUp

無菌性の観点から室温にて希釈後6時間以内に投与完了。安定性は30℃で16時間まで安定。

＜オキサリプラチン＞

オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

デキサート注は6.6～19.8mgで選択可。

オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)